



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 ダイトロン株式会社

コード番号 7609 URL <https://www.daitron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 伸介

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 毛利 肇 TEL (06) 6399-5041

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	24,446	15.3	2,142	26.3	2,141	23.4	1,433	21.5
2022年12月期第1四半期	21,199	34.3	1,696	129.1	1,735	109.7	1,179	113.4

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 1,615百万円 (29.1%) 2022年12月期第1四半期 1,251百万円 (73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	129.16	-
2022年12月期第1四半期	106.33	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	61,700	26,851	43.5	2,417.11
2022年12月期	63,202	26,012	41.1	2,342.79

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 26,830百万円 2022年12月期 26,006百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	45.00	-	70.00	115.00
2023年12月期	-	-	-	-	-
2023年12月期 (予想)	-	50.00	-	65.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	44,500	4.8	3,150	0.1	3,150	△3.0	2,130	△2.1	191.89
通期	88,000	0.4	5,730	△5.3	5,730	△7.7	3,900	△8.0	351.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	11,155,979株	2022年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	55,747株	2022年12月期	55,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	11,100,415株	2022年12月期 1 Q	11,097,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出等に弱さが見られるものの、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和による経済活動の正常化が進み、緩やかに回復しました。また、企業の生産活動は、資源や原材料価格の高騰の影響を受けながらも堅調に推移しました。

世界経済につきましては、米国は雇用が堅調に推移する一方、生産活動は停滞しました。中国はゼロコロナ政策の解除により個人消費が改善するなど、緩やかながら回復基調で推移しました。また、ウクライナ情勢の長期化、資源や原材料価格の高止まりに加え、世界的なインフレや金融引き締め等による景気後退懸念により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、一部では世界経済の低迷等による需要の調整局面にあるものの、5GやAI、IoT分野に関連する設備投資の需要は好調を維持しており、電子部品や半導体製造設備の生産活動は堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、「第10次中期経営計画(2021年～2023年)」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販、海外事業の拡大、新たな収益基盤となる新規ビジネスの創出に取組みました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は24,446百万円(前年同期比15.3%増)、営業利益は2,142百万円(前年同期比26.3%増)、経常利益は2,141百万円(前年同期比23.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,433百万円(前年同期比21.5%増)となりました。

セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

#### 国内販売事業

当セグメントにつきましては、製造装置では、半導体材料の生産向けに「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」、エネルギーデバイスの生産向け装置の販売が増加しました。電子機器及び部品では、半導体製造設備向けに「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネス、「半導体」のアナログIC、「エンベデッドシステム」の産業用PC、「画像関連機器・部品」のカメラ・画像処理装置の販売が増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は18,387百万円(前年同期比21.8%増)となり、セグメント利益(営業利益)は1,561百万円(前年同期比51.2%増)となりました。

#### 国内製造事業

当セグメントにつきましては、製造装置を手掛ける装置事業部門では、通信用デバイス向け加工機や検査装置の販売が増加しました。電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門では、特殊コネクタやハーネスの販売が増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は2,559百万円(前年同期比17.2%増)となりました。外部顧客への売上高は878百万円(前年同期比17.9%増)となり、セグメント利益(営業利益)は222百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

#### 海外事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品では、中国及び韓国市場で「半導体」の販売が減少しました。製造装置では、東南アジア市場で「電子部品製造装置」の販売が減少しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は5,180百万円(前年同期比3.4%減)となり、セグメント利益(営業利益)は367百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は54,338百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,824百万円の減少となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が2,213百万円増加したものの、現金及び預金が2,113百万円、電子記録債権が2,056百万円減少したことによるものであります。固定資産は7,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ323百万円の増加となりました。これは主に投資その他の資産が301百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は61,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,501百万円の減少となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は31,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,384百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,188百万円増加したものの、電子記録債務が1,899百万円、契約負債が1,028百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円の増加となりました。

この結果、負債合計は34,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,340百万円の減少となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は26,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ838百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当により777百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,433百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.5%となり、前連結会計年度末との比較で2.4ポイントの上昇となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、半導体製造設備関連が好調に推移したことに加え、電子部品不足の一部解消に伴う供給制約の緩和により、売上、利益共に好調に推移しました。このような状況を踏まえて2023年2月7日に公表いたしました「2022年12月期 決算短信」に記載の第2四半期累計期間の連結業績予想を修正いたしました。

なお、通期連結業績予想につきましては、ウクライナ情勢の長期化、資源や原材料価格の高止まり、世界的なインフレや金融引き締めによる景気後退懸念等の影響により先行き不透明な状況であることから、現時点においては2023年2月7日に公表いたしました業績予想数値を据え置くことといたしました。

詳細につきましては、本日(2023年5月10日)発表の「2023年12月期 第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,902,996	10,789,025
受取手形、売掛金及び契約資産	15,155,220	17,368,466
電子記録債権	10,633,948	8,577,609
商品及び製品	8,840,899	8,999,681
仕掛品	3,211,068	3,795,134
原材料	650,686	682,226
その他	4,769,757	4,128,132
貸倒引当金	△1,082	△1,755
流動資産合計	56,163,493	54,338,521
固定資産		
有形固定資産	4,400,487	4,404,712
無形固定資産	199,666	217,282
投資その他の資産		
その他	2,448,326	2,751,902
貸倒引当金	△9,492	△11,523
投資その他の資産合計	2,438,834	2,740,379
固定資産合計	7,038,988	7,362,374
資産合計	63,202,481	61,700,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,348,311	10,536,525
電子記録債務	13,785,670	11,886,521
短期借入金	530,343	634,114
未払法人税等	1,269,543	939,560
賞与引当金	131,420	648,097
その他の引当金	46,605	43,979
契約負債	6,629,682	5,601,186
その他	1,796,547	863,707
流動負債合計	33,538,124	31,153,692
固定負債		
退職給付に係る負債	3,557,298	3,604,451
資産除去債務	50,857	51,065
その他	43,669	40,600
固定負債合計	3,651,825	3,696,117
負債合計	37,189,950	34,849,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,570,380	2,570,380
利益剰余金	20,436,676	21,093,312
自己株式	△41,865	△41,917
株主資本合計	25,165,900	25,822,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	675,899	813,601
繰延ヘッジ損益	△9	24
為替換算調整勘定	344,544	366,610
退職給付に係る調整累計額	△180,021	△172,256
その他の包括利益累計額合計	840,412	1,007,980
非支配株主持分	6,218	20,620
純資産合計	26,012,531	26,851,086
負債純資産合計	63,202,481	61,700,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	21,199,947	24,446,106
売上原価	17,001,758	19,475,862
売上総利益	4,198,188	4,970,243
販売費及び一般管理費	2,501,832	2,827,396
営業利益	1,696,355	2,142,846
営業外収益		
受取利息	604	1,594
受取配当金	1,736	3,064
保険配当金	4,859	12,771
補助金収入	9,727	529
為替差益	18,599	—
雑収入	5,565	9,153
営業外収益合計	41,093	27,113
営業外費用		
支払利息	1,733	7,976
手形売却損	140	212
為替差損	—	18,652
雑損失	546	1,487
営業外費用合計	2,420	28,328
経常利益	1,735,029	2,141,630
特別利益		
固定資産売却益	—	1,591
特別利益合計	—	1,591
特別損失		
固定資産除売却損	167	306
特別損失合計	167	306
税金等調整前四半期純利益	1,734,862	2,142,915
法人税、住民税及び事業税	645,841	858,232
法人税等調整額	△90,930	△163,211
法人税等合計	554,910	695,021
四半期純利益	1,179,951	1,447,894
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	14,219
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,179,951	1,433,674

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,179,951	1,447,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,443	137,702
繰延ヘッジ損益	306	34
為替換算調整勘定	172,857	22,065
退職給付に係る調整額	10,597	7,764
その他の包括利益合計	71,317	167,567
四半期包括利益	1,251,269	1,615,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251,269	1,601,059
非支配株主に係る四半期包括利益	—	14,402



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	13,333,064	741,604	1,828,845	15,903,514	—	15,903,514
製造装置	1,760,623	3,076	3,532,732	5,296,432	—	5,296,432
顧客との契約から生 じる収益	15,093,687	744,680	5,361,578	21,199,947	—	21,199,947
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,093,687	744,680	5,361,578	21,199,947	—	21,199,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	733,906	1,439,120	118,360	2,291,388	△2,291,388	—
計	15,827,594	2,183,801	5,479,939	23,491,335	△2,291,388	21,199,947
セグメント利益	1,032,653	220,017	461,044	1,713,714	△17,358	1,696,355

(注) 1. セグメント利益の調整額△17,358千円には、セグメント間取引消去△2,059千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,299千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	15,943,979	867,497	1,875,514	18,686,992	—	18,686,992
製造装置	2,443,622	10,611	3,304,879	5,759,113	—	5,759,113
顧客との契約から生 じる収益	18,387,602	878,108	5,180,394	24,446,106	—	24,446,106
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	18,387,602	878,108	5,180,394	24,446,106	—	24,446,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	752,212	1,681,020	88,102	2,521,335	△2,521,335	—
計	19,139,815	2,559,128	5,268,497	26,967,441	△2,521,335	24,446,106
セグメント利益	1,561,849	222,739	367,434	2,152,023	△9,176	2,142,846

(注) 1. セグメント利益の調整額△9,176千円には、セグメント間取引消去7,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16,727千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。